

第11回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2016年12月19日（月）16：30～17：45

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. 今後の廃棄物処理・処分対策に係る研究開発計画について

NDF事務局より、今後の廃棄物処理・処分対策に係る研究開発計画について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○IAEAの中で、限定再利用のクリアランスレベルも検討するという情報がある。IAEAの動向を踏まえながら進める計画にした方が良い。

○研究開発計画については、成果が結果的にどこにどのように使われてどう展開されるか、流れが見えるような表現にしていきたい。

○廃棄物処理処分に係る研究開発はいろいろな廃棄物が多種多様にわたっていてわかりにくい。ため、廃棄物ストリームの形で整理することとしていたはず。継続して廃棄物ストリームを検討するのか否かもう一度整理してもらったほうが良い。

○本研究開発計画からナショナルプロジェクトとしてふさわしい項目の絞り込みや、過不足の有無の確認、および実施工程の精査をお願いしたい。

○廃棄物処理処分対策分野においてこれまでの5年を振り返り、何がどのように進んで、何が課題として残ったのか、さらに2021年度を見据えたときの課題は何かあって、これらを集約したらこのような課題になるという全貌を示していきたい。

2. 英国調査報告について

NDF事務局より、英国調査報告について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○セラフィールドにおける分析体制は、今後の大熊の分析・研究施設第2期棟の運用体制づくりに何か示唆する点があるのではないかと。

○我が国においても、UKASのような認証制度があった方が良いのではないかと。

3. その他議題

○次回廃棄物対策専門委員会について

以上